

《教育長メッセージ 第2号》

『学校』

海老名市には、小学校が13校、中学校が6校あり、9月1日現在で、10,966人の子どもたちが通っています。特別支援学校や私立小中学校に通っている子どもたちもいます。

さて、学校はなぜあるのでしょうか？

学校教育の目的は、教育基本法や学校教育法に示されているところですが、私は、学校は、子どもたちが将来「しあわせ」に生活するために必要なさまざまな力を身につけるためにあると考えています。

そして、それは「3つの力」であると考えています。

ひとつは「学力」であり、生涯にわたって学習を継続するための、基礎的な学力と学習意欲を身につけるということです。

ひとつは「集団力」であり、人と絆を深める力（コミュニケーション能力）と、集団の中で自分の役割を果たし、集団のために自分の力を発揮して、集団をよりよくしようとする力を身につけるということです。

ひとつは「健康安全力」であり、自分の健康や安全を自分で判断して守り、命を大切に生活する力を身につけるということです。

義務教育の小中学校の9年間で、これらの「3つの力」を、ひとりひとりの子どもの特性に応じて、確実に身につけさせるために、学校はあるのです。

このために、海老名市では、平成26年度から「えびなっ子しあわせプラン」を策定し、3年間の計画を立て、学校教育を進めているところです。

私は、教育行政の立場ですが、学校現場の教職員、保護者・地域のみならずととも、10,966人の子どもたちに失礼のないように、子どもたちの「しあわせ」のために、よりよい海老名の学校教育を実践していきたいと、強く思っています。

次回は、自分の「故郷」を紹介したいと思います。

